



人材確保に係る事業者との協定について

担い手共創プロジェクト

07 February, 2025
令和6年度 第2回 公共交通勉強会

TABLE OF CONTENTS

- 01 趣旨説明
- 02 【全 国】公共交通の担い手の状況
- 03 【三田市】公共交通の担い手の状況
- 04 神姫バスにおける主な担い手確保の取り組み
- 05 三田市の捉え方の変化
- 06 公共交通の担い手確保事業
- 07 担い手共創プロジェクト
- 08 結論と今後の展望（担い手共創プロジェ
クト）

CONTENTS 01 趣旨説明

三田市では「誰もが気軽に移動できるまち」を目指しており、理想のまちを実現するためには、公共交通ネットワークの維持が必要となります。

しかし、ドライバーを中心とした「公共交通の担い手不足」に起因したバス路線の休止意向の申し出がされるなど、担い手不足は大きな問題となっています。

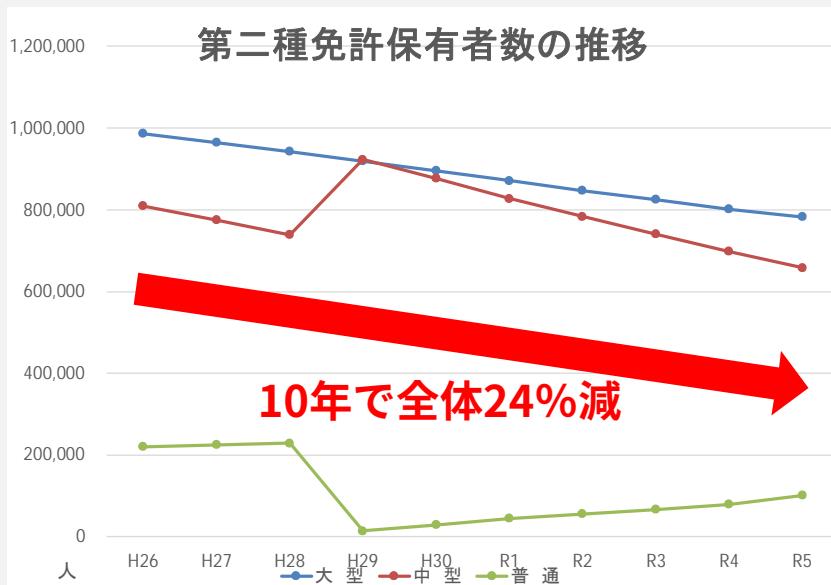
担い手不足の問題を解決するために取り組んでいる、三田市の事業を紹介します。



CONTENTS 02

【全 国】公共交通の担い手の状況

全国的に公共交通の担い手が不足しています。



第二種免許保有者数が減少している

	バス	タクシー	トラック	自動車整備	全産業平均
運転者・整備要員数	11万人 (2022年度)	24万人 (2022年度)	88万人 (2023年)	40万人 (2023年)	—
女性比率	2.0% (2022年度)	4.5% (2022年度)	3.4% (2023年)	1.6% (2023年)	45.2% (2023年)
平均年齢	53.9歳 (2023年)	59.7歳 (2023年)	47.2歳 (2023年)	47.2歳 (2023年)	43.9歳 (2023年)
労働時間	197時間 (2023年)	189時間 (2023年)	210時間 (2023年)	183時間 (2023年)	178時間 (2023年)
年間所得額	453万円 (2023年)	419万円 (2023年)	458万円 (2023年)	488万円 (2023年)	507万円 (2023年)

※出典：令和6（2024）年版 交通政策白書

平均年齢が全産業平均より高い
全産業より3歳～15歳増

CONTENTS 03

【三田市】公共交通の担い手の状況 -路線バス：神姫バス-

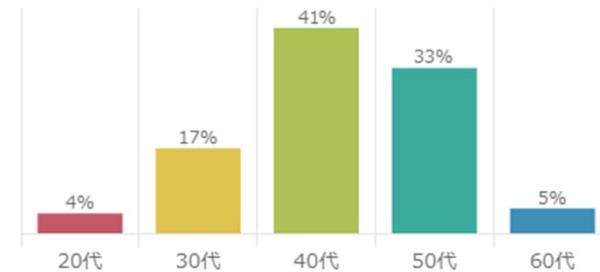
三田市内でも公共交通の担い手が不足しています。

神姫バス三田営業所

ドライバー
約180名在籍：約10名不足

※令和6年7月5日時点情報

運転士の年齢構成



直近3年間の入社は20代19名、30代12名、40代25名、50代16名で、そのうち8割の方が運転業務未経験で入社しています。

※出典：神姫バスHPより

ドライバーは40～60代で約8割を占めている。

CONTENTS 03

【三田市】公共交通の担い手の状況 -路線バス：神姫バス-

三田市内でドライバー不足を起因としたバス路線の休止の申し出
(広野線・幡尻線・藍本線)



CONTENTS 04 神姫バスにおける主な扱い手確保の取り組み

様々な取組をされていますが扱い手は不足しています。

多様な働き方

1 4勤1休フルタイム型（正社員）
基本4日連続勤務して1日休みのシフト制による働き方
※4日に1回の休みとは別に月に2~3日の「特定休」があります。また、路線限定もフルタイムの勤務です。

2 土日祝休み（平日限定勤務）型（無期契約社員）
休日が土日祝と年末年始となり、平日限定勤務の働き方（フルタイム）

3 路線限定勤務型（有期契約社員）
※満60歳以上は応募時大型二種免許必須
限られた路線だけを乗務する働き方（フルタイム）

4 短時間・パート型（有期契約社員）
※応募時大型二種免許必須
ご自身のライフスタイルに合わせ、週1日以上、1日労働時間4時間以上から勤務できる働き方

※出典：神姫バスHPより

ドライバーのイメージアップ

- SNS（TikTok）による魅力発信

- 前向きなポスターの作成



※出典：神姫バス提供

女性運転士が活躍しやすい環境の構築

CONTENTS 05 三田市の捉え方の変化

変化 前

多様な業界が担い手不足

医療・福祉

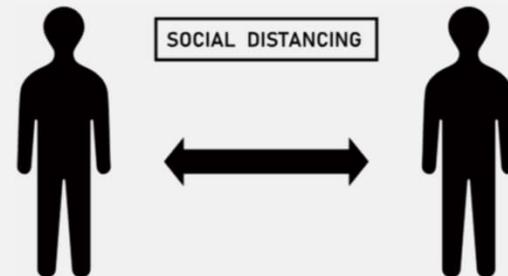
運輸業・郵便業

建設業

旅館・ホテル

行政としては公平性が求められる。

運輸業界も担い手不足と認知しているが、行政としては一定の距離が必要だと感じていた。



CONTENTS 05 三田市の捉え方の変化

変化 後

ステップ01



担い手不足は、
公共交通ネット
ワークに影響を
与えている

ステップ02



担い手不足は、
まちづくりの観
点でも**問題**であ
る

ステップ03



交通事業者だけ
では問題を解決
しにくい

ステップ04



**行政からも積極
的なアプローチ
が必要！**

CONTENTS 06 公共交通の担い手確保事業

三田市の公共交通の担い手確保に関する取り組みは以下の3つです。

01



担い手共創プロジェクト

今回のメインです

- 令和6年度から神姫バスとの協定による地域ぐるみの取り組みを開始

02



自動運転バス実証調査事業

- 令和2年度から神姫バスと路線バスの自動運転化を目指して実証実験を開始

03



イベント

- フラワータウンフェスタ（パネル展示、駅舎見学、車両展示（バス・タクシー・グリスロ））
⇒天候不良により中止
- 企業訪問バスツアー（求職者が地元の企業を訪問）

CONTENTS 07 担い手共創プロジェクト

仕組みづくり

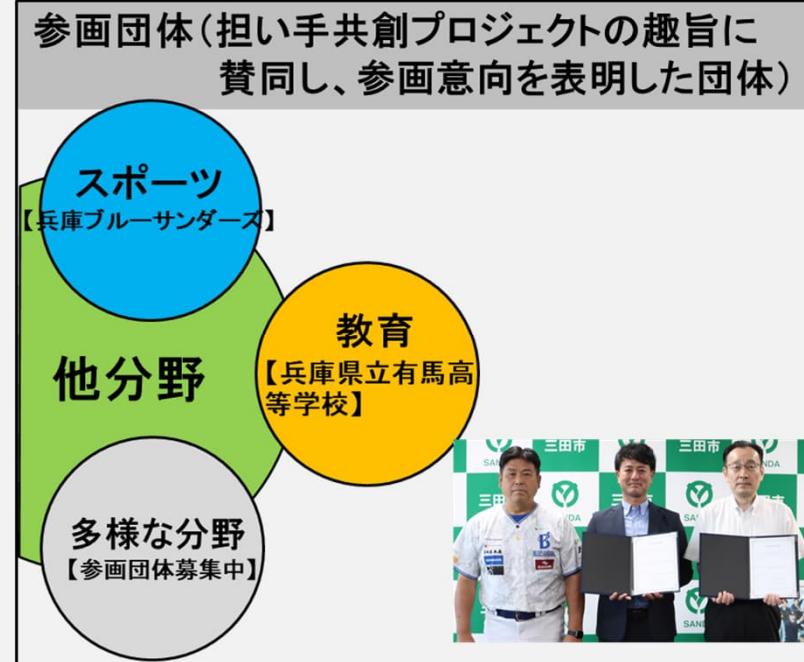
公共交通ネットワークを維持するには、交通事業者だけではなく、**行政や交通分野以外の多様な団体**が積極的に公共交通の担い手不足対策に関わるような新しい仕組みを構築し、**地域ぐるみの協力体制**を確立することが必要

担い手共創プロジェクトを始動
(令和6年7月~)



CONTENTS 07 担い手共創プロジェクト

スキーム



担い手共創プロジェクトで誕生した公共交通の担い手を「三田市交通大使」として任命します。
大使は市と一緒に公共交通をPRしてもらい、公共交通に対する理解醸成とともに、本プロジェクトの認知度の拡大を図ります。

CONTENTS 07 担い手共創プロジェクト

スキーム

協定

公共交通の担い手確保に関する協定書（担い手共創プロジェクト）

三田市と神姫バス株式会社は、公共交通が日常の暮らしや産業等のまちを支える重要な社会インフラであるという共通認識の基に、第1条に定める目的を達成するための相互の連携に関し、次のとおり協定（以下「担い手共創プロジェクト」という。）を締結する。

（目的）

第1条 担い手共創プロジェクトは、交通分野の垣根を超えた多様な団体（以下「他分野」という）と共に創し「公共交通の担い手確保」を推進することにより、公共交通ネットワークの持続性向上を図ることを目的とする。

参画団体（担い手共創プロジェクトの趣旨に賛同し、参画意向を表明した団体）

参画意向表明書

公共交通の担い手確保に関する協定書（担い手共創プロジェクト）第1条に定める目的に賛同し、担い手共創プロジェクトに参画する意向について表明いたします。

想定する取組内容 _____

CONTENTS 07 担い手共創プロジェクト

参画団体：兵庫ブルーサンダーズ



三田市内に拠点を置く女性硬式野球チーム。
来年度からは女子ソフトボールも本格始動する
など、複合的な競技運営を行う。

例：1日のスケジュール



狙い

球団選手等に運転手として安定的に働ける機会を提供することにより、**安心して競技に打ち込める環境**を整える

取り組み

運転手を就職先として希望する球団選手等の**情報提供**

進捗

希望者に企業説明会を実施
内定者あり

CONTENTS 07 担い手共創プロジェクト

参画団体：兵庫県立有馬高等学校



狙い

生徒に公共交通に対する理解醸成を図るとともに、将来のキャリア選択の一つとして公共交通が加わること

取り組み

職業を紹介する機会（授業等）の提供

進捗

1年生の授業（産業社会と人間 プロフェッショナル in 有馬～働くことについて考える～）にて、神姫バスのドライバーが登壇

CONTENTS 07 担い手共創プロジェクト

三田市交通大使（こんな制度も作りました！）



狙い

プロジェクトの認知度拡大や公共交通のPR等を図ることにより、プロジェクトの輪の拡大及び公共交通ネットワークの維持確保に寄与すること

取り組み

プロジェクトにより誕生したドライバー等を「三田市交通大使」に任命する

【想定する連携内容】

- ・ プレス対応や通常業務におけるプロジェクトPR
- ・ 交通イベントへの参加によるPR
- ・ プロジェクトで実施する有馬高校の授業（産業社会と人間）登壇

CONTENTS 07 担い手共創プロジェクト

プロジェクトを進めて、わかったこと

一朝一夕にはいかない

(参考) 有馬高校に就職状況をヒアリング

(1)進学する生徒が年々増えている

⇒令和5年度兵庫県阪神北地域の就職者の割合は3.4%

(2)売り手市場である

⇒高校生への求人方法は「指定校求人」と「公開求人」がある

⇒10名程度の就職希望者に対して、指定校求人100社

(3)高校2年生から、働く業界を絞る

⇒7月から本格的に開始

CONTENTS 07 担い手共創プロジェクト

プロジェクトを進めて、わかったこと

それでも方向性は見えてきました・・・

①長期的なアプローチ

②交通業界に縁が遠かった人へのアプローチ

(参考) 有馬高校からのアドバイス

(1)公共交通に興味を持つてもらうこと

⇒小さい頃からの経験をもとに職業を選ぶことが多い
(事例: 小さい頃に消防イベントに参加した生徒が、消防署に就職を希望する)

(2)企業と学校のつながりは大事

(3)就職する生徒は家庭が経済的に困窮しているケースがある

⇒運輸業界では、普通免許の取得が就職要件となっているイメージがあり、その時点で就職の選択肢から除外される可能性がある

CONTENTS 08 結論と今後の展望（担い手共創プロジェクト）

三田市では、継続的に担い手共創プロジェクトを推進することにより、公共交通の担い手不足の解消を図ります。また、地域が一体となって担い手不足の問題に取り組むことで、まちづくり（例：スポーツ選手のセカンドキャリア、移住定住等）への波及効果も期待しています。

今後の展望



プロジェクトの深度化

継続的に事業を行い、各取組を確立させることにより、安定的な体制を目指します。



参画団体の増加

各分野・各団体のそれぞれの強みを生かした取り組みを行うため、参画団体の増加を目指します。



バス以外への波及

市内公共交通の担い手不足を解消するため、様々な公共交通事業者との取組を目指します。

Thank you

ご清聴いただき、誠にありがとうございます。。

今後も三田市の取り組みにご興味をお持ちいただけすると幸いです。

何かご質問やご意見がございましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。

三田市交通政策課



交通企画係主任伊藤文一
□ 079-555-6777
✉ kotsu@city.sanda.lg.jp